

2024 関の 佐賀関の強く美しい ヤブツバキの花と素晴らしい景色を見にきませんか？

ヤブツバキ花まつり

豊予海峡に面し気候が温暖な佐賀関には、椿の原種「ヤブツバキ」が自生しています。2014年に行われた調査では、半島を囲むように樹齢百年以上の古木が無数に存在していることがわかりました。海風に強く過酷な環境の中でも、力強く生き続け、この佐賀関の地で黙って咲き続けるヤブツバキは、人々を励ます力が宿っています。

無料
自由参加

3月10日 日

もっと椿が好きになる！

ヤブツバキ観賞散策

10:00 ▶ 14:00 頃

ヤブツバキの自生場所を、散策マップを見ながら、関埼灯台近隣の遊歩道を自由散策します。

集
合
場
所

県道 635 号沿い
関埼灯台近く 駐車場
テントブースにて、散策マップ配布

大分短大がツバキに関する
相談を承ります！

関のヤブツバキ
無償配布【50本先着】

能登半島地震で被災された方へ
皆さんのまごころを募ります

国登録記念物
2023年3月20日登録

日本の渚百選

ビシャゴ岩 

黒ヶ浜 

黒ヶ浜は、沿岸のビシャゴ岩とともに鑑賞されてきた名勝地です。黒ヶ浜を挟む岬の沿岸には岩礁が点綴（てんてい）していて、特にその南側に位置し、大小2つの岩塊からなるビシャゴ岩は、沿岸航行の安全を見守る海女の黒砂（いさご）・真砂（まさご）の二神の伝承から姉妹岩とも呼ばれています。

登録有形文化財

2024. 3 月末まで工事中
建物の中には入れません

関埼灯台

 散策スポット

1901(明治34)年に初点灯した大分県で最古の灯台
鉄造3階建、直径3.0m、高さ11m、建築面積39㎡
登録年月日:2022.06.29 登録有形文化財(建造物)

佐賀関半島東端の地蔵崎に建つ灯台で、鉄造、高さ11m、円筒形の灯塔に扇形平面平屋建と付属舎が付く。厚さ6ミリの鉄板を曲面加工し、リベット止めする構造で灯塔上部にバルコニーを廻しドーム屋根の灯籠を載せている。瀬戸内海と太平洋をつなぐ豊予海峡を通過する船舶の航行に現在も重要な役割を果たしてきた。明治期の鉄造灯台の一つで2022年には「登録有形文化財(建造物)」に登録された。



主催：NPO さがのせきまちづくり協議会

お問い合わせ 道の駅 さがのせき TEL097-576-0770

協力：大分短期大学・語ろう！3つの輪実行委員会(道の駅さがのせき・日本風景街道 おおいいた海への道推進協議会・道守大分会議)